

No.391(一九八九年一月一・二日合併号)から  
No.424(一九八九年二月二一日)まで

No.391(一九八九年一月一・二日合併号)

◇巻頭言◇一九八八年、われわれの進路①  
「全的統一」の偽瞞をあばく

―総評解体阻止の焦点―  
党大会と社会党の展望

総評解散を阻止するために  
―北海道のたたかいの報告―

国鉄闘争を基礎に「総評解体阻止」へ  
―島根の仲間からの報告―

特集「十一・七」シンポジウムの報告②  
報告2 困難なときほど原点に立ち帰る

(全国一般)  
報告3 百人票を根拠地に持久戦(私鉄総連)

報告4 本部答弁が履行されないときは? (自治労)  
報告5 日教組をめぐる情勢(日教組)

◇読者からのおたより◇編集部だより  
号外労戦統一と全国地県評の方針

No.392(一九八九年一月二一日)

◇巻頭言◇天皇ヒロヒトの死  
今年の課題五つ岩井章

自治労「分裂」で喜ぶものは?  
―自治労中央委で考えたこと―

八九春闘懇はかくたたかう  
「国鉄闘争」をふり返って吉田進

◇北海道・新得からの報告◇  
「国労ゆえに差別された」

社会党の朝鮮政策は変更の要なし  
―変化を強いられているのは韓国の政策―

書評向坂ゆき編

「道は一筋―向坂逸郎を語る」  
◇読者からのおたより◇編集部だより

No.393(一九八九年二月一日)

- ◇巻頭言◇社公民路線の清算が党勢拡大の基本  
ニュースタイルの天皇制復活の地ならし―天皇死去報道マスコミの地ならし―  
「裕仁の死」と平和憲法の原点  
エンペラーイズデッド  
資料政府が憲法違反の代替わり儀式を計画  
地労委勝利命令とこれからのたたかい  
北海道地労委が国労完全勝利の救済命令  
全国の自治労の仲間へ―自治労運動の現状を考える―  
国労に連帯し、五万人カンパをよびかけ  
―兵庫の仲間のとりくみから―  
◇読者からのおたより◇編集部日より

No.394(一九八九年二月一日)

- ◇巻頭言◇竹下内閣打倒は社会党の任務  
天皇制と日本資本主義の行方  
―支配層のねらいを見抜け―  
主権在民こそ憲法の柱  
天皇の戦争責任をめぐり内外に論議  
―国内と国外で大きなギャップ―  
労戦統一と職場闘争  
―日教組の現状と今後の課題―  
一九八九年労働運動のポイント①  
書評「よみがえれ青年部運動」  
読者からのおたより

No.395(一九八九年二月二一日)

- ◇巻頭言◇日本の「労働貴族」の現状  
現実の闘いで社公民路線は破綻  
―社会党第五四回大会の報告―  
社会党大会をふり返って  
「連合」を従えた日経連のいいたい放題  
―「労働問題研究委員会報告」のポイント  
連合発足一年の本質  
―一九八九年労働運動のポイント②―  
大軍拡予算  
―一九八九年予算案の特徴―  
京都総評を守れ  
読者からのおたより

No.396(一九八九年三月一日)

◇巻頭言◇

第五四回党大会と

福岡参院補選での社会党の圧勝

〃憲法真空地帯〃新宿御苑周辺

土井委員長の足を引っぱるもの

―問われる最前線からの運動構築

大衆闘争の力で党建設を

―社会党大会の総括と課題―

労戦問題をめぐる日教組の動向①

―第六七臨大方針案と討議資料をめぐって

資料1 労戦統一に関する意見・要望

(新潟県職婦人部・要旨)

資料2 「大都市職労連絡会」づくりについて

三多摩労働運動の階級的・大衆的再生へ

―一五三名の熱気の中、

三多摩労研センター結成―

書評『逆流に勝つ―地域からの党建設』

読者からのおたより

No.397(一九八九年三月一日)

◇巻頭言◇

「全労協」を大きく広く結集しよう

特集「国労闘争」前進のために①

「J R 式安全対策」の姿勢を問う

本務の組織化がこれからの焦点

横川―軽井沢間廃線を許さない

投稿学校警備員廃止化反対の闘い

〃J R は命令を守れ! 全道集会〃に二千人

資料1 全道集会「集会宣言」

労研センター「都職労友の会」発足

―「連合」に反対し、

総評・自治労の階級的再生をめざす―

資料2 「都職労友の会」結成アピール

東京地評大会が再び中止へ

―ドキュメント二月三日―

読者からのおたより

国際労研・訪ソ交流団にご参加を

No.398(一九八九年三月二一日)

◇巻頭言◇改良と革命の弁証法

言論と行動の自由を―長崎市本島等市長発言に関して―

◇本の紹介◇横掘正一書『日教組再生』

労戦「再編」に抗し続ける仲間たちへ

◇京都からのアピール◇京都総評の強化発展と

日本労働運動の強化をめざして

「連帯する会」拡大を連帯の柱に―国労のゆくえを決定するたたかい―

消費税の撤回を！―矛盾だらけの税法―

◇資料と解説◇連合への全面屈服は明らか

第十一回連合・総評首脳会談「合意」

資料連合・総評官公労

第十一回首脳会談「合意」書

◇読者からのおたより◇編集部日より

「社会通信社」住所移転のお知らせ

No.399(一九八九年四月一日)

◇巻頭言◇戦後最悪の学習指導要領改訂

「組織分裂」の不幸の回避、克服を―自治体労働運動への問題提起―

組織の防衛・強化が大会焦点に―自治労第五回大会から―

資料自治労産別強化・組織防衛闘争の推進について(自治労)

臨時大会決定と今後の課題―労働問題をめぐる日教組の動向②

「大喪の礼」と憲法空洞化策動

「連合型統一候補」とわれわれの課題

「社会通信社」の住所が変わりました

No.400(一九八九年四月一日)

◇巻頭言◇連合「資格審査」の屈辱を受け入れるな

総評Xデーの春闘と再生への課題

闘争路線の堅持と六〇万の団結維持を―労働問題をめぐる日教組の動向③―

作業委員会リ延期リの背景とこれから

資料1 日教組本部への申し入れ(千葉高教組)

国威発揚?リ大喪の礼リ―復活した皇軍と元首天皇制―

支持急落の竹下内閣

「京都総評に連帯する会」に期待の声

ナジブラ政権は倒れない―アフガニスタンの最近の情勢―

読者からのおたより 「社会通信社」の住所が変わりました。

No.401(一九八九年四月二一日)

◇巻頭言◇消費税撤回・リクルート疑獄追及

―社会党は主体性堅持を―

自治労、日教組、国労組合員に みたび訴える岩井章

◇兵庫の仲間からの報告◇国労を包んで「下」から闘う

資料 「二・一三集会」アピール

「ペレストロイカ」考

「戦争責任論」には内と外で大きなギャップ ―世界の声に背を向ける竹下内閣―

◇読者からのおたより◇

「全労協・準備会懇談会」の結成

書評若林熙著『白頭山への旅』

No.402(一九八九年五月一・二一日)

◇巻頭言◇反撃の時期はいま!

労戦をめぐる日教組の動向

揺れ始めた自民党政権の土台―現政局の特徴と任務①―

闘わなければ好条件も生かせない―八九年春闘総括への基本視点―

総評解散阻止の可能性も―作業委員会〃延期〃と労戦問題―

メーデーと労働者階級

資料1 「第六〇回東京統一メーデー」準備のご案内

資料2 「メーデー実行委員会」準備会のアピール

資料3 第六〇回メーデー実行委員会

文集をもって子供たちが訴え―清算事業団闘争は新たな段階へ―

国労で闘い続ける―広域の仲間からのおたより―

読者からのおたより

No.403(一九八九年五月二一日)

◇巻頭言◇官公労協運営委員・企画委員会殿

拡大する総評「お葬式」阻止の条件―連合の新たな方針で矛盾はさらに拡大―

資料1 日教組九州地区協議会「抗議、並びに申し入れ要求」

資料2 千葉高教組の「質問状」

資料3 北海道官公労協の意見書

闘いをより大衆的に―八九春闘の総括と展望―

清算事業団はどこにでもある―九州清算事業団激励交流の感動―

野党はリアルに国民の声を聞け―現政局の特徴と任務―

資料4 国政選挙と連合政権協議への提言(党建協)

読者からのおたより

No.404(一九八九年六月一日)

◇巻頭言◇今こそ社会党の強化・躍進を！  
時短の真の意味

自治労組合員の奮闘に期待する―労戦問題をめぐる官公労の動向①―

◇資料と解説◇「官民統一推進会」発足と今後

資料1 第十四回首脳会談(合同) 合意事項

資料2 「統一案起草委員会」委員一覧

資料3 「実務者委員会」委員一覧

情勢に大きな変化―東京・都労連メーデーの大成功―

追い風は我にあり―新たな段階に入った清算事業団闘争

国民は選択を行った―人民代議員選挙を顧みて―

◇読者からのおたより◇編集部だより

No.405(一九八九年六月一日)

◇巻頭言◇反自民の全野党が結集しよう

資料1 政治危機突破のための緊急提言

「連合」流にさらに改悪―「統一案起草作業結果の答申」について

資料2 日教組本部への「申し入れ」(千葉高教組)

資料3 新「連合」の「綱領文書」―「進路と役割」と「連合の進路」―

破産しつつある「民営・分割」―「JRの光と影」をよんで―

〃広域〃闘う国労の仲間たち

編集部だより

No.406(一九八九年六月二一日)

◇巻頭言◇破られていた非核三原則

社会党は国民の意見に耳を貸せ―「いま社会党を励まし、

正しい躍進を願う国民集会」決議―

連合を〃職場の安定帯〃として〃慶賀〃

「桜田テーゼ」を再度かかげた日経連総会

全労協、九月九日に「準備会」結成へ

資料1 全労協の具体的な推進について

資料2 全労協の結成をめざす

同志へのアピール

総評拡評と日教組への期待

資料3 連合の「運動領域と活動のあり方」―新旧文書の比較対照表―

労働委員会制度を守れ―「週刊新潮」、屋山論文批判―

読者からのおたより

国労東京が事業センターを開設―国労全国統一物資販売へご協力を！―

No.407(一九八九年七月一日)

◇巻頭言◇田辺氏の危険な「新見解」

二つの選挙は未来を開く

永久政権を模索する自民党案―「政治改革案」の検証①―

活動家、組合員への率直な提起で討論を―自治労中央委と組合員の任務―

資料1 労戦統一を完成させる取り組み(自治労)

資料2 「基本文書」などにかかわる見解(日教組)

五・二八国労の広域採用者と

家族をはげます集い―心をついに力をあわせ、連帯を確認―

書評「自治労運動と労戦統一」を推す

◇読者からのおたより◇

国労東京が事業センターを開設―国労全国統一物資販売へご協力を！―

No.408(一九八九年七月一日)

◇巻頭言◇

民衆が歴史をつくる―フランス革命二百年

歴史的な新潟補選の大勝利

総学習し、各級機関会議で討論を―再び「連合の進路」について―

資料1 都労連の労戦統一方針

「全面解決案」実現にむけ総決起―国労第五三回臨時大会―

自民党「政治改革」案の問題点―「政治改革案」の検証②―

リクルート疑獄から学ぶこと―社会党に期待されるもの―

◇読者からのおたより◇編集部だより

◇本誌拡大にご協力を

No.409(一九八九年七月二一日)

◇巻頭言◇参院選の焦点

自民惨敗、社会党は大躍進―都議選結果の意味するもの―

『国労だから…』『女だから…』そんな差別は許さない!―

―国鉄清算事業団の仲間と手をつなぐ六・二四集会―

銀行家も驚く大合理化

日教組運動の特質と労戦の選択

―労戦問題をめぐる官公労の動向②―

新刊案内岩井章「ひとすじの道五〇年」

動き急な統一労組懇

◇読者からのおたより◇編集部だより

本誌拡大にご協力を

No.410(一九八九年八月一日)

◇巻頭言◇明るく楽しく活動を①

我等はいま、何をなすべきか 坂牛哲郎  
―激動する情勢に立ち遅れるな―

組合分裂をおおる社会党の方針

資料1 労働界全体の統一にむけての党の対応

解雇撤回をたたかって一三年―昭和電工・千葉の仲間からの報告―

◇資料と解説◇日教組「組織問題」をめぐって

資料2 日教組代表者会議方針

資料3 統一労組懇系による「連絡会」のよびかけ

資料4 団結の力で六〇万日教組を守ろう

◇投稿◇「有利な情勢」と職場に違和感

国労に新たな勝利命令

読者からのおたより 本誌拡大にご協力を―編集部だより

No.411(一九八九年八月一日)

◇巻頭言◇真価問われる社会党 ―参院での与野党逆転にあたって

拒否された「永田町政治」の論理―われら今、何をなすべきか②―

日教組、新「連合」に加盟を提案

資料1 労働戦線の統一に関する件(案)

国労闘争前進のために―国労をめぐる情勢と課題―

「闘って良かった」といえる日をめざして―昭和電工・千葉の仲間からの報告②―

◇投稿◇新潟の仲間の闘いに学ぶ

読者からのおたより 編集部だより―読者をご紹介ください

No.412(一九八九年八月二日)

続・我等はいま、何をなすべきか 坂牛哲郎

―「周辺部」の反乱を「基軸部」へ①―

一八五力国から二万人が参加―第一三回世界青年学生祭典に参加して―

統一の名による分裂は許せん!―自治労富山大会を前に

社会党左派系が全国集会―

資料1 「七・二八全国討論集会」案内

資料2 「七・二八集会」への自治労本部・指示

資料3 自治体労組交流会

「八・一一神戸集会」のよびかけ

資料4 「七・二八全国集会」アピール

労働問題で二つのパンフレット

◇投稿◇京都総評が全労協運動に組織的に関わることを決定

読者からのおたより 編集部だより―読者をご紹介ください

◇号外◇「われら今、何をなすべきか―都議選、参院選総括」八月下旬発行三百円

No.413(一九八九年九月一日)

◇巻頭言◇自民党の崩壊、労戦再編成

二つのパンフレットに思う

続・我等はいま、何をなすべきか

―「周辺部」の反乱を「基軸部」へ②

◇灰原茂雄氏と語る①◇

『三池と向坂教室』、編集を終えて

期待ふくらむワイトハウスさんのバイオリン

―DDR建国四〇周年記念コンサート―

九月九日に全労協準備会結成大会

「ヤルしかない⑩」「全労協」を統制する？

あらゆる分裂主義から

六〇万日教組を守りぬこう

読者からのおたより

◇号外◇「われら今、何をなすべきか―

都議選、参院選総括と展望」

―発行とご購読のお願い

No.414(一九八九年九月一日)

◇巻頭言◇政治展望を切り開くために

◇選挙闘争をたたかって◇

女性の本格的な

政治参加の走りを実感(新潟)

「連合」でなく社会党こそが

逆転の原動力(岡山)

行財政「改革」で矛盾が激化(長野)

ヤルしかない!⑩

「社会党の抵抗性」という「源泉」

参院選から京都市長選へ

党建協、第三回総会・記念講演会に参加しよう

社会党の「基本政策」転換を許すな

◇灰原茂雄氏と語る②◇

「友情は人生の花である」をわがものに

読者からのおたより

◇号外◇「われら今、何をなすべきか―

都議選、参院選総括」

九月六日発行、定価三百円ご購読を!

No.415(一九八九年九月二一日)

◇巻頭言◇大衆闘争が新しい日本をつくる  
当面する政局への提言

―日本社会党「党建協」―

都職労、兵庫県本部が修正案提出

―自治労第五六回大会の報告と感想―

資料①「日本労働組合総連合会」への加盟について

資料② 自治労大会第二号議案への修正案(兵庫県本部)

資料③ 自治労大会第三号議案(抜粋)

資料④ 自治体労働組合全国連絡協「声明」

総評議長が国労に「挑戦状」

資料⑤ J Rの不当労働行為、国労支援に出ぬ労働界

資料⑥ 国労の労戦統一方針(案)

◇国労大会報告①◇すべての闘いを組織奪還闘争に結合  
韓国労働者の不屈の闘い

読者からのおたより

◇号外◇「われら今、何をなすべきか」

都議選、参院選総括」

九月六日発行、定価三百円ご購入を!

※FAX番号が変わりました

〇三―二九九―五三六七

No.416(一九八九年一〇月一日)

◇巻頭言◇

左派は左派らしく、新たな闘いと決意を

「日本労働組合総連合会」への加盟を決定

―自治労第五六回大会の報告―

「全労協参加」を決定

―国労の位置と任務、役割を新たに認識―

資料1 国労の「全面解決要求」

闘う労働運動の拠点

―「全労協」準備会結成―

資料2 全労協結成準備会発足までの経過

資料3 全労協結成準備会「アピール」

◇号外◇「われら今、何をなすべきか」

都議選、参院選総括と展望」―

好評発売中、定価三百円ご購入を!

No.417(一九八九年一〇月二一日)

◇巻頭言◇総評の終焉と「全労協」

ドイツにおける社会主義への道―DDR建国四〇周年に寄す―

「全面解決要求」実現をめざす―国労第五四回大会の報告―

大田区職労で一日行動―「国鉄闘争」に連帯・交流―

資料1全労協の組織および運営のポイント

分裂の誘発に抗した左派の健闘―日教組第六八回定期大会の報告―

『小沢治さんに学ぶ』発刊にあたって

一千万署名、十一・二二集会に協力を

◇読者からのおたより◇編集部だより

◇号外◇「われら今、何をなすべきか―

都議選、参院選総括と展望」― 好評発売中！定価三百円ご購入を！

No.418(一九八九年一〇月二二日)

◇巻頭言◇「全労協」の道 岩井章

総評解散とわれわれの任務①―総評第八一回定期大会の報告―

資料1総評大会での加治特別代議員の発言

資料2総評センター―活動大綱

資料3総評センター―加盟状況

苔あらずんば松もまたこれなし―参院選結果とわれわれの任務―

読者からのおたより

坂牛哲郎著労働者運動の展望を示す！

◇号外◇「われら今、何をなすべきか―

都議選、参院選総括と展望」―

ご購入を！好評発売中定価三百円

No.419(一九八九年一二月一日)

◇巻頭言◇科学的社会主義の理論と実践①

歴史をつくる楽しみを―総評解散とわれわれの任務②―

発足した「統一準備会」

階級的労働運動再構築に布陣―神奈川で総評・継承発展集会―

◇投稿◇明るくおおらか、

笑顔がすてきな若者たち

全面解決要求実現の闘いと「全労協」参加

清算事業団闘争勝利

「十一・二二」集会に参加を

フランス革命二百年に思う―本物に根気よく挑戦したい―

三井資本、三たび首切り合理化

読者からのおたより

No.420(一九八九年一月一日)

◇巻頭言◇「十一・二二」五万人集会成功に協力を

情勢は新たな段階に突入―総評解散とわれわれの任務③―

困難を克服し、党強化の具体的活動を

―第六四回社会党兵庫県本大会をふりかえって―

社会党に砲火集中

―日経連が社会党批判のパンフ発行―

資料1 日経連パンフ(要約)

資料2 民社党「永末ビジョン」(要旨)

資料3 電機労連の参院選中間総括(要旨)

自民党支持率低下は必至―最近の世論調査結果から―

消費税廃止へ大衆運動を

組織分裂は自治労から日教組へ

◇読者からのおたより◇広域の仲間への手紙

「国労支援中央共闘会議準備会」が結成

◇号外◇「我等は今、何をなすべきか―

都議選、参院選の総括と展望」 定価三〇〇円ご購入を！

No.421(一九八九年一月二日)

◇巻頭言◇西ドイツには失業の自由

国労闘争の勝利の展望を切り開こう

―民主主義闘争前進にむけての

職場からの総括と課題のために―

◇資料と解説◇

九〇春闘懇、労研センターの会議から

資料1 九〇春闘懇結成総会「アピール」

資料2 国労の地方議会要請活動への対処方について(自民党)

資料3 労研センターの当面の諸活動

新段階の労働運動に備える

―二冊の書物を読んで―

最大の山場、「国鉄闘争」に全力を

―清算事業団闘争に運帯する会を結成して

仲間たちを首切らせてたまるか

―一千万署名達成にむけて―

過労死と労災認定をめぐる

郵政反合理化闘争の課題

読者からのおたより

「この思いをレールに乗せて」をすすめる

No.422(一九八九年二月一日)

◇巻頭言◇東ドイツとハンガリーは違う

消費税は廃止できる！ 小林晃

「連合」の路線、組織、方針①―労働戦線の状況を探る―

「連合」発足とわれわれの任務①坂牛哲郎

社会党への新たな攻撃の始まり―日経連の社会党批判について―

国労闘争の勝利の展望を切り開こう

―民主主義闘争前進にむけての職場からの総括と課題のために②―

読者からのおたより

No.423(一九八九年二月一日)

◇巻頭言◇「連合」発足とわれわれの任務②

―下からの大衆闘争を―

全労協結成大会近づく―一〇〇万人の結集をめざす―

「連合」の路線、組織、方針②

―政治路線には四つのながれ―

◇北海道清算事業団闘争に参加して①◇

国労闘争は民主主義擁護の中心軸

新たな段階に入った日教組

―日教組臨時大会の意味するもの―

No.424(一九八九年二月二日)

◇巻頭言◇「ペレストロイカ」と帝国主義

「全労協」を結集拠点に

―総評解散とわれわれの任務④―

新たな段階に入った労働運動

―連合統一大会報告を中心に―

帰京後、さっそく報告会

―清算事業団交流会に参加して―

最終局面に入った東京地評をめぐる攻防

分裂の悲劇、非組合員の急増

―自治労府本部大会と情勢―

都職労大会、分裂を回避

三年目に入った不当解雇撤回の闘い

十一・二二集会は大成功

―全国から三万二千名が参加―

読者からのおたより